

Energy-Next

ニュースレター

S評価獲得と今後の展開

2019年2月22日、日本学術振興会に設置された博士課程教育リーディングプログラム委員会において事後評価結果が取りまとめられ、本プログラムの「S評価:計画を超えた取組が行われ、優れた成果が得られていることから、本事業の目的を十分に達成できた」と評価できる。

| 区分 | 評価基準 | オールラウンド型 | 複合領域型 | | | | | | | オンリーワン型 | 合計 (単位:件) |
|----|---|----------|-------|------|----|----|---------|------|--------|---------|--------------|
| | | | 環境 | 生命健康 | 物質 | 情報 | 多文化共生社会 | 安全安心 | 横断的テーマ | | |
| S | 計画を超えた取組が行われ、優れた成果が得られていることから、本事業の目的を十分に達成できた」と評価できる。 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 7 (29%) |
| A | 計画どおりの取組が行われ、成果が得られていることから、本事業の目的を達成できた」と評価できる。 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 1 | 3 | 10 (42%) |
| B | 概ね計画に沿った取組が行われ、一部で十分な成果が得られている点もあるが、本事業の目的をある程度は達成できた」と評価できる。 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 7 (29%) |
| C | 計画に沿った取組が行われておらず、十分な成果が得られていないことから、本事業の目的を達成できなかった」と評価する。 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 (0%) |
| 計 | | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 5 | 24 |

れ、優れた成果が得られていることから、本事業の目的を十分に達成できた」と評価できる」が決定しました。

2012年10月に文部科学省「博士課程教育リーディングプログラム」のひとつとして採択されてから7年間、教職員・学生が一丸となってプログラムの活性化・質の向上に取り組み、試行錯

誤しながら走り続けてきました。2013年1月から1期生が参画し、2014年4月には本学初となる修士・博士を区分しない5年一貫制の新専攻「先進理工学専攻」を設置、7年間で63名の学生が入学し、2019年3月末時点で47名を社会に輩出してきました。

事後評価では、学生からも好評な海外大学・企業への長期派遣や、企業人材・外国人教員を含む複数指導体制などが、修了者の約7割が民間企業に就職するという高い実績に繋がり、また学生の自主性を育む仕掛けにより「たくましい学生が育っている」と評価されました。

本プログラムは、今後も先進理工学研究科 先進理工学専攻として5年一貫制教育を継続します。4月には新LD1年生として4名が入学予定です。グローバル社会の一員として、SDGsやSociety 5.0などの課題に取り組み、解決に導く理工系リーダーを輩出すべく、今後も一層充実したカリキュラムを提供して参ります。今後とも、先進理工学専攻の活動に、応援よろしくお願いたします。